

子どもの見守り環境と  
親同士のコミュニケーション

「パークレットが遊ぶ場所の近くに置かれていたことで、親御さんの見守り+休憩所となり非常に良かったと思いました。」「今は親同士でも連絡先を知らないことがあるため、親同士の会話の場面が見られて良かった。」などの声がありました。  
大学生が子どもの面倒をみる安心感は今までも確認されていましたが、今回は通り抜けを中止し閉じた空間とすることを試行したことで、「親が子どもから離れ見守りながら親同士が会話できる環境を創る」というひとつの目標を達成することができました。親同士の会話から新たなコミュニティへとつながっていく次の展開を期待したいと思います。



文化的処方

東京藝術大学が提唱する「文化的処方」とのコラボレーションにより、熊本市美術文化振興財団 文化的処方推進室（熊本市現代美術館）から初出展いただきました。単なる通行量や入場者数などの指標によらない Well-being な取り組みを目指して、引き続き参加者の幸福度を向上させる方法を検証していきます。

緑の環境

特に仮設会場での緑化が難しいため、日常時の緑化との連携を図ることが必要であり、今回は大生ファミリーさんのご協力を得て緑化が実現しました。下の写真は、パークレットに設置した緑を歩道沿いに設置した例です。



「点」と「線」と「面」

五感散歩では「複数の点で面（界限性）を認識させる」という仮説を立て社会実験に取り組んでいます。今回、来場者が【旧呉服町診療所】【旧秤屋】【大生ファミリー駐車場】の3点をバラバラに捉えていることがわかり、「線」として認識させることが難しいことを再確認しました。

また、実験の後半に【旧呉服町診療所】のコンテンツを【大生ファミリー駐車場】に集約すると、分散型よりも好評でした。「線」を形成するより「点」として強化の方が効果が期待できそうだとわかりました。

今後の展望

今回は地域からの参加かつ複数回参加（リピーター）が多く確認され、この実験の取り組みが定着しつつあると思われます。

今後も

- 点（場）の展開
- 日常化への動き
- 設えの良質化

を展開させていきますが、特に日常化に向けた取り組みに注力していきたいと思えます。

主催：熊本市 一般社団法人 KIMOIRIDON 熊本大学工学部土木建築学科

【会場協力】出田眼科病院/大生ファミリー株式会社 【運営協力】合名会社早川倉庫/五福消防団 【プレイヤー協力】熊本大学工学部土木建築学科星野研究室・本間研究室・高田研究室/九州ルーテル学院大学人文学科本田研究室/熊本大学教育学部中迫研究室+有志/熊本大学教育学部藤原研究室 OBOG/熊本高等専門学校八代キャンパス川口研究室/熊本市美術文化振興財団 文化的処方推進室/株式会社キッシュコーポレーション

# ロジ・ラボ

くまもと古町地区社会実験（五感散歩 2025 秋）  
2025年（令和7年）10月18日（土）13:00~17:00



主催：熊本市 一般社団法人 KIMOIRIDON 熊本大学工学部土木建築学科



過年の5回の実験では不動産跡から中唐人町に通り抜ける南北軸で開催してきましたが、これを中止し、今回は【大生ファミリー駐車場】に【旧呉服町診療所の前庭（天然芝）】と【旧秤屋（町屋）】を加え、東西軸で連続させることを試行し、<ロジ・ラボ>をテーマに開催しました。

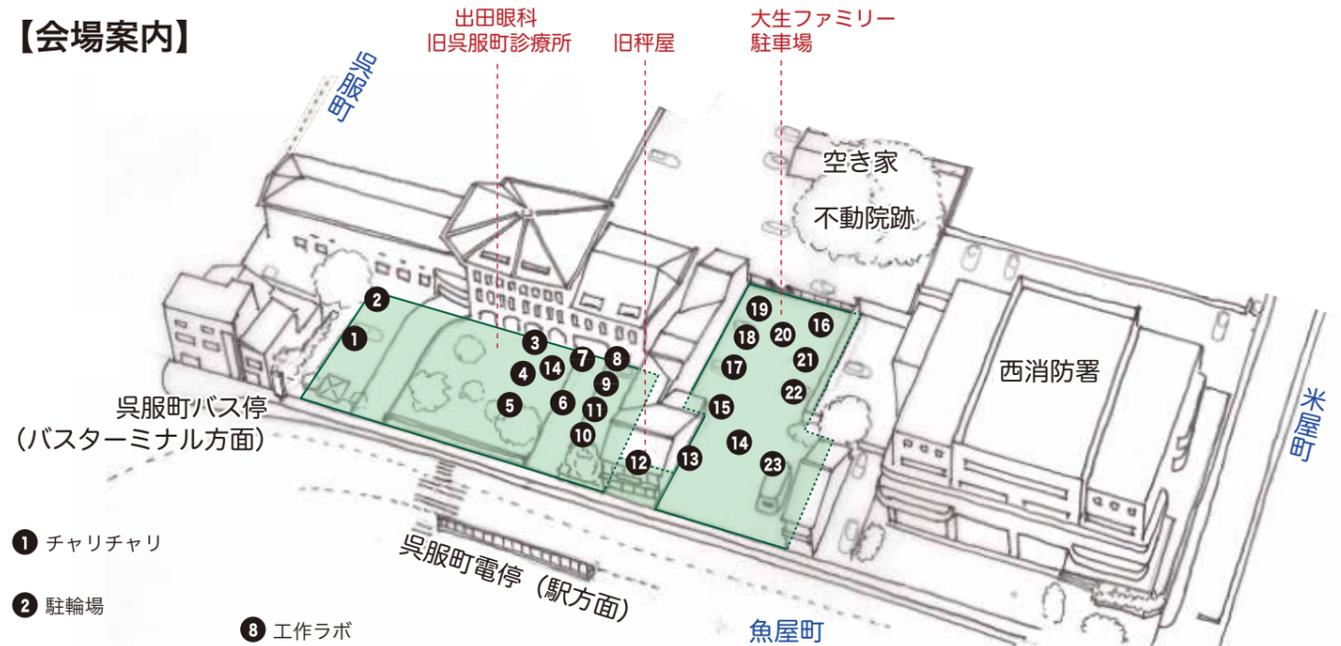
<ロジ・ラボ>のねらい

これまでの工作や音楽における効果、まちづくりへの提案・啓蒙、子ども同士あるいは学生とのコミュニケーションなどの検証に加え、

- 親同士のコミュニケーションの創出
- 連続する点（にぎわい）の有効性
- 緑のある環境の創出
- パークレット（緑・休憩・美気候）の実験
- 文化的処方とのコラボレーション

などにも取り組むことにしました。

【会場案内】



- |            |                          |                        |                              |                        |
|------------|--------------------------|------------------------|------------------------------|------------------------|
| 1 チャリチャリ   | 8 工作ラボ<br>スライム作り         | 13 インフォメーション           | 17 文化的処方ラボ<br>町屋から出た材料を使った工作 | 21 丸芝ラボ<br>ご自由にお使いください |
| 2 駐輪場      | 9 あちピン GO ラボ<br>（お散歩の受付） | 14 パークレットラボ<br>環境系の研究室 | 18 工作ラボ<br>レジンキーホルダーなど       | 22 模型ラボ<br>古町地区の模型の展示  |
| 3 モルック     | 10 休憩スペース                | 15 ベビーカー置場             | 19 音楽ラボ<br>ハンドベルやジャンベなど      | 23 キッシュカフェ（有料）         |
| 4 ポッチャ     | 11 手形アートラボ               | 16 休憩スペース              | 20 芝生ラボ<br>ボードゲームなど          |                        |
| 5 遊び道具置き場  | 12 アンケート回収<br>自作缶バッジ     |                        |                              |                        |
| 6 囲碁ボール    |                          |                        |                              |                        |
| 7 ストラックアウト |                          |                        |                              |                        |

**工 作** / 熊本大学教育学部中迫研究室+有志

ハーバリウムやしおりを作りました。たくさん時間をかけて考えたり、ちょっと飾り付けが足りなかったり、、、満足できる作品を作るために頑張っていました。



**音 楽** / 熊本大学教育学部特別支援藤原研究室 OB・OG

見たことのない楽器に目をキラキラさせ、子ども同士のやり取りや、控えめだった子どもも楽器を通して自ら楽しむようになる様子を間近に見ることができました。



**ふるまち模型** / 熊本大学土木建築学科本間研究室

子ども達は、自分の住んでいる場所を探したり、模型に人や緑を置いてみたりしました。アンケートでは、自分のまちのことを考えるきっかけになったとの声もありました。



**緑化・パークレット実験** / 熊本大学土木建築学科高田研究室

ベンチと緑が一体となったパークレットの設置を試みました。緑視率が上がり会場の環境が向上しました。ベンチの利用では一定の成果がありました。今後も検討を継続していきます。



**スライム作り** / 九州ルーテル学院大学児童教育専攻本田研究室

学生さんが理科の授業を応用したスライム作りを実施しました。STEAM教育の一環として科学の一面にも触れることができたのではないのでしょうか。



**手形アート・墨絵** / 九州ルーテル学院大学本田研究室

塗料を塗った手を葉っぱに模して手形の木を作りました。また、また筆を使って大きな紙に自由にお絵描きをしました。普段は味わえない体験に興味が味でした。



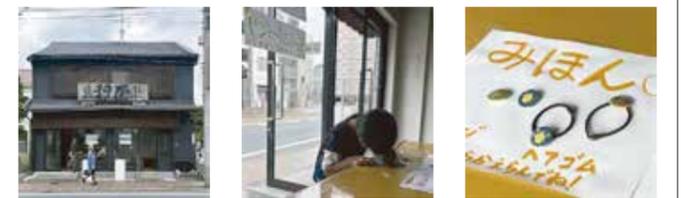
**文化的処方** / 熊本市美術文化振興財団 文化的処方推進室

近隣の町屋から譲っていただいた道具等を使って作業しました。思いのほか竹ペンが大人気でした。文房具整理箱を作ってくれたり、絵を描いて自作の額縁に飾ってくれたりしました。



**アンケート回収・缶バッジ** / 熊本高等専門学校川口研究室

旧秤屋さんの町屋の空き店舗を利用させていただきました。アンケートの回収も兼ねて、自分で描いた絵を缶バッジにしてプレゼントしました。すごい腕前の絵を描く子もいました。



**からだあそび** / 九州ルーテル学院大学児童教育専攻本田研究室 熊本大学土木建築学科星野研究室+本間研究室

大学生のお兄さん・お姉さんと遊ぶモルックとストラックアウトは、とても賑やかで楽しかったようです。今回初となる天然芝の上で、のびのび遊べたのではないのでしょうか。

囲碁ボール、ペンタク(青と赤の球を投げて目標の球に近づけるスポーツ)、レゴブロックは、人気のアクティビティで、今回もたくさんの子が夢中になりました。

アクティビティに参加してくれたお友達にはくじ引きでプレゼントも。



**カフェ** / キッシュカフェ

常設のキッシュカフェさんでは、気温がやや高かったこともありレモンソーダが売り切れとなりました! ホットサンドミートボールwithチーズも売れ行き好調でした。



**サイン**

/ 熊本大学土木建築学科星野研究室

大生ファミリー会場の入口に大型のサインを設置しました。1枚目をめくると古町全体の地図が現れます。会場パンフレットにも応用しました。



**休憩スペース**

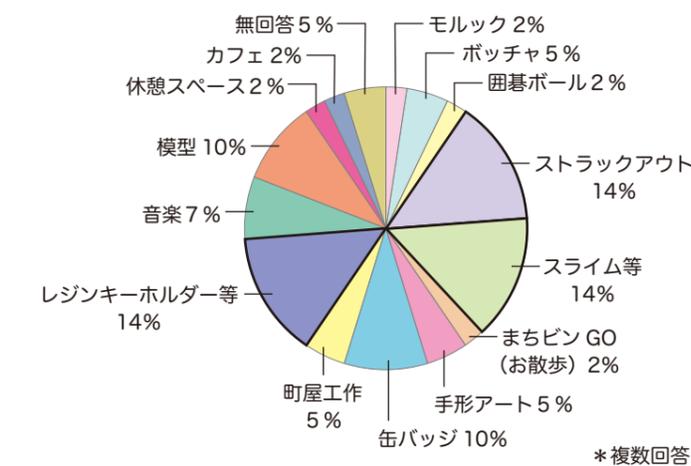
パークレットの設置や天然芝の効果、コンテンツで遊ぶ時間が長くなったこと等により、例年より多くの方に休憩スペースをご利用いただいたように思います。



**アンケート結果**

例年の11月から10月開催に変更した今回の来場者数は、例年同等の約100人規模となりました。同日、サクラマチや駅前広場で大規模なイベントが開催された影響で、より地域性の強い来場者となりました。

**どのコンテンツ(内容)が良かったですか?**



- 来街目的 社会実験目的：84%  
通りがかり：11%
- 来街頻度 住民：79%  
10回以上：16%
- 来街手段 徒歩：77%  
車：14%
- 情報手段 学校や幼稚園で：58%  
口コミ：16%
- コンテンツ ストラックアウト  
スライム作り  
レジンキーホルダー・しおり作り } : 14%  
古町地区の模型  
缶バッジ作り } : 10%
- 取組意義 会場全体の雰囲気：36%  
大学生との交流：28%  
1つ1つの内容(コンテンツ)：16%  
まちのことを考えるきっかけになる：8%
- 感想 良かった：89%  
まあまあ良かった：5%

回答者の属性

- 居住地 五福校区：78%  
熊本市内：11%  
熊本県内：11%
- 性別 女性：57%  
男性：29%  
無回答：14%
- 年齢 小学生：42%  
40代：24%  
30代：19%
- 幼稚園：10%  
50代：5%
- 有効数 配布数：71票  
回収数：19票